

暑さ指数で注意喚起 熱中症から身守れ



校庭の暑さ指数を計測する伊集院中学校生徒会保健部の生徒
11月7日、日置市

登下校時の服装選択



体操服や部活動の練習着で登校する生徒たち
＝4日、鹿児島市の甲南高校

厳しい暑さが続く中、鹿児島県内の公立学校は熱中症対策に知恵を絞っている。熱中症リスクの指標となる「暑さ指数」測定による注意喚起や、涼しい服装での登校許可など、安全を確保し快適な学校生活を送るための取り組みを進める。

県内公立校対策に知恵

「今日の暑さ指数は34・3です」。伊集院中学校(日置市)の給食時、放送委員のアナウンスが流れる。気温や湿度から算出する暑さ指数を、今年7月から生徒会が専用機器を使って校庭で測定し、放送や掲示板で注意を促す。この日は31以上の「危険」に該当してい

た。生徒自ら取り組むことで、帽子の着用や日陰に移るなど意識付けにつながっているという。

同校では1998年8月、当時2年生の男子生徒が部活動中に熱中症で死亡。以来、予防の講話や学校独自のマニュアルの作成など、対策を進める。

暑い時期の授業時数を減らすため、例年4月に実地していた三者面談を今年から7月に移し、授業は午前中で切り上げる。小野修校長は「空調のない教室もあるので夏場の授業はリスクが高い」と話す。

鹿児島市の甲南高校は6月下旬から約3カ月間、登下校や授業中の服装を生徒が選択できる。7月4日、多くの生徒が体育服や部活動の練習着で登校。日傘や携帯扇風機を手にする姿も見られた。

1年の吉岡肇音さんは、ダンス部のTシャツに体育服の半ズボンで登校。「通気性が良く、汗をかかなくて済む」と喜ぶ。宮田俊一校長は「快適な服装を主体的に考える機会にもなっている」と語る。

消防庁によると、2024年5～9月、県内の熱中症救急搬送者2253人のうち、小中高生は253人。教育機関から運ばれたのは114人だった。県保健体育課の山元尚史課長は「暑さの感じ方や体力は個人差がある。無理せず、体調が悪いと感じたらすぐ対処するよう心がけて」と呼びかけた。

【問1】 熱中症リスクの指標となるのは、何指数でしょう。

【問2】 県内の公立学校では、どんな取組をしているでしょう。1つ書き抜きましょう。

【問3】 2024年5～9月の県内の熱中症救急搬送者は、何人だったのでしょうか。

【問5】 問3の内、中高校生は、何人だったのでしょうか。

【調べてみよう】

習っていない漢字とむずかしい言葉の解説 厳(きび)しい 熱中症(ねつ・ちゅう・しょう) 喚起(かん・き)＝よび起こすこと 涼(すず)しい 服装(ふく・そう) 湿度(しつ・ど) 専用(せん・よう) 掲示(けい・じ) 促(うなが)す 危険(き・けん) 該当(がい・とう)＝一定の条件や資格に当てはまること 帽子(ぼう・し) 日陰(ひ・かげ) 死亡(し・ぼう) 対策(たい・さく) 実施(じっ・し) 下旬(げ・じゅん) 選択(せん・たく) 日傘(ひ・がさ) 携帯扇風機(けい・たい・せん・ふうき) 姿(すがた) 汗(あせ) 済(す)む 搬送(はん・そう)＝運んで送ること 消防庁(しょう・ぼう・ちよう)